

第3回 cMRI2公開シンポジウム

ー 次世代ニューロイメージングによるパラダイムシフト ー

と き 平成29年2月20日(月) 17:00~19:00

ところ 岩手医科大学創立60周年記念館 (内丸キャンパス循環器医療センター)
10階会議室 / 矢巾キャンパス本部棟4階中会議室(中継)

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の助成により、平成26年度から「異分野融合による脳と心の健康のための介入的ニューロイメージング」プロジェクトがスタートしました。本プロジェクトでは、社会問題となっている認知症やうつ病などの高次脳機能・精神機能に関わる疾患の病態解明だけでなく、低侵襲な発症前診断や早期診断法の確立を目指しており、国民の脳と心の健康の維持増進に寄与するものと期待されます。今回のシンポジウムでは、最新の研究成果について報告します。

開会のあいさつ 祖父江憲治 (学長) 17:00

第1部 血管・血管壁イメージング 17:05
座長：小笠原邦昭 (脳神経外科学講座 教授)

- ◆ 3D T1強調MRプラークイメージングによる頸動脈プラーク性状の識別
鳴海新介 (内科学講座神経内科・老年科分野)
- ◆ 超高磁場7テスラMRIを用いた2型糖尿病患者の脳Small Vessel Disease(SVD)の評価
八代 諭 (内科学講座糖尿病・代謝内科分野)
- ◆ 7 Tesla定量的磁化率マップ(QSM)を用いたOEF画像による頸動脈内膜剥離術後過灌流の予知
野村 順一 (脳神経外科学講座)

第2部 脳機能イメージング 17:35
座長：人見次郎 (解剖学講座人体発生学分野 教授)

- ◆ 拡散尖度画像を用いた心臓大血管手術後の大脳白質変化の検討
坪井潤一 (心臓血管外科学講座)
- ◆ 拡散尖度画像と定量的磁化率画像を用いたパーキンソン症候群の早期鑑別診断
伊藤賢司 (超高磁場MRI診断・病態研究部門)
- ◆ 鎮静法下における脳機能変化の検討
四戸 豊 (口腔顎顔面再建学講座歯科麻酔学分野)

特別講演 18:05
座長：佐々木真理 (医歯薬総合研究所 所長)

視聴覚統合のメカニズム 杉田陽一 (早稲田大学文学学術院心理学教室 教授)

閉会のあいさつ 佐藤洋一 (医学部長) 18:55